

教育目標 : ○みずから学び 創造する	○心豊かに 互いを尊重する	○健康で たくましく生きる
めざす学校像 : ○学ぶ喜びが実感できる学校	○ふれあう喜びがあふれる学校	○夢を育む学校
めざす生徒像 : ○瞳輝く生徒	○深く考える生徒	○希望に満ちた未来を創る生徒
めざす教師像 : ○教育に対する熱意と使命感に富む教師	○一人一人の良さや可能性を引き出せる教師	○常に学び続ける教師

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標 (中間)	努力指標 (最終)	成果指標 (中間)	成果指標 (最終)	分析コメント	改善策
確かな学力	基礎的な知識・技能を確実に身に付け、それらを活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む	生徒の主体的な学習を通して、学ぶ楽しさ、わかる喜びが実感できる授業を工夫する	自分の考えを発表したり、友だちと話し合う活動を単元の指導計画に位置付ける。	2 75%	/	4 80.1%	/	・教科の特殊性もあり、言語活動を展開しにくい教科もあるが、一定の成果は上がっていると言える。 ・質・量ともまだまだ十分ではないと感じている教員が多い。言語活動の質をあげるためにも、意図的・計画的に話し合わせたり、発表させたりすることが求められる。	・「なぜだろう?」「どうしてだろう?」と生徒が興味・関心をもてるような発問を工夫するとともに、考えたことや感想をペアや4人一組のグループなどで共有する活動を授業の中に一回は取り入れるようにする。 ・話し合い活動を深めたり、広げたりする教師の励ましや、発問等を工夫する。
			学習のねらいを明確にし、本時の目標を示して授業を展開するとともに、授業の振り返りを必ず行う。	4 91.7%	/	3 81.1%	/	・教員、生徒とも90%以上が学習の「ねらい」が示されていると回答しているが、振り返りに特化した「授業では学習内容を振り返る活動をよく行っている」と回答した生徒は78.2%にとどまる。「めあて」は示すものの、振り返る活動はまだ十分ではない。	・引き続き「振り返り」の時間を確保するとともに、自己評価や相互評価を取り入れるなど、生徒が主体的に学習の成果を確認できるような工夫をする。 ・振り返った結果を宿題など家庭学習や、次の学習につなげる指導を工夫する。
豊かな人間性	多くの人とのかれあいを通し、自らを律し、他を思いやる心や感動する心を育む	「特別の教科道徳」を核に、教育活動全体を通して、道徳的価値を自分事として理解できるようにする	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合う活動を取り入れ、考え、議論する道徳を実践する	1 73.9%	/	3 78.5%	/	・全教員が「考え、議論する道徳」を実践することを目指し、努力指標基準を高く設定したため「1」となった。これまでの「教材を読む道徳」から脱却し、授業のねらいを明確にし、どのような角度から何を考えられるようにするのか、工夫・改善をする必要がある。	・次年度から使用することになった教科書等を参考にしながら、話し合い活動を積極的に取り入れる指導過程を工夫する。 ・生徒の心が大きく動くような主発問ができるよう、ねらい明確にする。 ・進路学習部を中心に他校での授業実践、評価の実際等について情報提供を行う。
			総合的な学習や特別活動等において生徒が主体的に取り組み、達成感・充実感を味わうことができるようにする	運動会、合唱コンクール等の学校行事や、委員会・係活動において、リーダーを中心に積極的に取り組めるよう指導する	4 91.7%	/	1 73.5%	/	・「リーダーシップ、フォロワーシップ」という視点から生徒の充実感、達成感を問うとともに、基準を高く設定したため成果指標が「1」となったが、運動会や修学旅行、遠足・校外学習など、行事に対しては積極的に参加し大きな成果をあげることができた。1学期ということもあるが、個々の役割を自覚させ、主体的に行事や委員会活動に関わるという意識を持たせることが十分ではなかった。
信頼される学校	特色ある教育活動を推進し、地域や小学校から信頼される学校を創造する	地域と連携した教育活動を推進し、地域を愛し地域に貢献しようとする態度を育てる	国分寺調査や職場体験、地域の安心・安全を考える会、などの教育活動をさらに充実させるとともに、学区内の小学校との間接的・直接的な交流を行う	/	/	/	/		
			特別支援学級設置校としての特色を最大限に生かし、「共生社会」を目指した教育活動を積極的に行う	特別な支援を必要とする生徒に対し丁寧な指導したり、学校行事を中心にE、F組との直接交流を計画的に行ったりするなど、全校体制で特別支援教育を推進する	/	/	/	/	